### 保育計画(新規事業計画)成果報告書

法人名等	社会福祉法人仙台ぱれっと福祉会	
施設名	川前ぱれっと保育園	
報告者(役職)	小野寺 満寿美 (園長)	
住所・連絡先	宮城県仙台市青葉区芋沢字赤坂 53-1	
	<b>T</b>	022-395-8486
	E-mail	Kawamae@s-palette.swc.or.jp

#### ○タイトル (保育計画 or 新規事業計画)

「みんなで楽しくうたおう会♪」

#### ○主な助成備品

電子ピアノ、ミニピアノ、グロッケン、マラカス、ウッドブロック、シンバル等

#### 1. 保育計画(新規事業計画)策定の目的

当園は宮城県仙台市青葉区の芋沢地区に、令和2年4月に開園した仙台市の認可保育園です。開園以来、毎年「うたおう会」という行事を開催してきました。

子どもたちがきれいな声で楽しく歌うことを目標に、年に3回、普段クラスで歌っている 季節の歌などを、全クラスの前でステージに立って発表するというものです。年長クラスで は、歌のみでなく、楽器を使った合奏も取り入れています。

ステージで表現すること、人前で表現する経験を重ねていく中で歌うことを楽しんだり、 自信をもって表現できるようになり、12月の発表会では保護者の前でも普段の姿で歌う ことができています。

また、開園当初から地域の様々な方に支えられている園で、毎年お米農家さんから新米を 提供いただいたり、絵本や楽器の寄付を頂くなど、温かい支援のもと運営しております。そ の地域の方への感謝の気持ちを伝える場として、「うたおう会」に地域の方をご招待して園 児の姿をご覧いただいています。

このように、当園にとって「うたおう会」はとても大切な取り組みとなっており、継続していく中でもっといろんな楽器に触れてほしいという思いが出てきました。第一生命財団様よりいただいた助成金で、楽器の種類を増やし、子どもたちが日頃から音楽に触れる機会を増やしながら「うたおう会」をさらに充実させていくことを目標に保育計画を作成いたしました。

# 2. 具体的な実施内容

日々の保育の中で音楽や楽器に触れる。

**0・1** 歳児は楽器との初めて の出会いから始まります。

■1 歳児の楽器あそびの様子







■2歳児の楽器あそびの様子





うたおう会の様子



■3歳児うたおう会の様子



3 歳児になると、
楽器を持って歌う
ことができるよう
になります。

# ■4歳児楽器あそびの様子





うたおう会の様子



4歳児では、楽器ごとのパート 分けができるようになります。

# ■5歳児楽器あそびの様子







# うたおう会の様子



## 3. その成果と評価

 $\cdot 0 \sim 5$  歳児まで、各年齢に合った歌や様々な楽器に触れる活動の中で、音楽に興味を持ち、保育の中でいつでも音楽や楽器に触れられる環境ができ、「うたおう会」を通して表現することの幅も広がりました。

- ・楽器の種類が増えることで、子どもたち一人ひとりの「やってみたい」に応える選択肢が 増え、鍵盤ハーモニカ等が苦手な子でも、好きな楽器、やってみたい楽器に出会い、自信を もって表現することができました。
- ・特別支援児は、皆と一緒に人前で表現することが難しいことが多いですが、楽器の選択肢が増えたことで、うたおう会当日に気持ちが崩れた場合でも、"この楽器なら持って参加できる"という、その子、その場に合わせた臨機応変な対応が可能となりました。

皆と一緒に参加できたという達成感が、特別支援児の成長にも大きく繋がり、保護者にも 喜んでもらうことができました。

- ・全園児が集まって音楽に触れることで、園全体の一体感や大きいクラスの子に対する憧れ の気持ちなど、相互刺激になりました。年3回のうたおう会の活動の中で、他のクラスの 発表を見て、「次はこの楽器をやってみたい。」という子どもたちの意欲に繋がりました。
- ・3回目のうたおう会では、地域の方にも子どもたちが表現する姿を見ていただいたことで、地域の方に支えられていることの感謝の気持ちを直接伝えることができ、また、「子どもたちから元気をもらった。」「感動した。」と、たくさん褒めていただき、子どもたちの達成感も高まりました。

### 4. 今後の課題と展望

これまでの成果をみると、子どもたちにとって、楽器選択の幅が広がり、いつでも音楽に触れられる環境が整った一方で、日々の音楽遊びからうたおう会に至るまでに、子どもたちを導く保育士側の経験値やピアノスキルに差が生じています。

園児と一緒で、保育士にも得意、不得意がありますが、うたおう会本来の「楽しく音楽に ふれる」目的を鑑みて、保育士も負担無くこの会を継続していくために、保育士側の指導 スキルの育成が課題となります。

今後は、個々のスキル向上の努力と併せて、子どもの発達段階に合わせた音楽指導の進め 方等を園内研修等で学んでいきたいと考えています。

以上